

NPO法人

久喜の自然を愛する会

会報

NO1 (通算22) 2014年6月

会のモットー

- 1 足元から自然を学ぼう
- 2 ^{いま} 現在 ある自然を次の世代に残そう

活動の記録 (写真版)

本年度第1回野草観察ふれあいウオーク中土手



久喜菖蒲公園

36名参加



長須先生の説明に耳を傾ける参加者



藤浪会長による会報集約版の説明



カントウタンポポ



ヒレアザミ



ヤブカンゾウ



トウダイグサ



ニワゼキショウ



アメリカフウロ

キクイモ堀

2013年12月1日



七草粥を食べる会

2014年1月6日



前日の七草採取



おいしいのを作るぞ



こっちも作るぞ



七草 叩け！ 叩け！



おいしくできました



いただきます

第9回久喜市の野草写真展

2014年3月1日～7日



飾り付け終了



ご来場者



保護活動



春の七草 (スズナ・スズシロを除く)



色鉛筆画

キクイモ植え付け

2014年3月22日



作業 風景



8名参加

久喜の里野草写真展

2014年3月14日～5月14日 老人ホーム久喜の里



展示作業



搬出

野草保護活動

東側

西側

4月
8名



4月



5月
9名



5月



特定非営利活動法人久喜の自然を愛する会総会

第2回（通算第10回） 2014年4月13日 太田集会所



26名参加



代表あいさつ



事業報告



会計報告



新代表あいさつ



舌鼓 I



舌鼓 II

巻頭言

就任にあたって

藤浪康義

去る4月の総会で、長須房次郎先生が代表理事を勇退されました。後任に私が代表に就任いたしました。長須先生におかれましては、長い間本会を担ってこられました事を心から御礼申し上げます。偉大な先生の後任という事で私といたしましては身の引締まる思いでございます。

幸い先生はふれあいウォークの講師は継続していただけるとの事で、顧問として引き続き本会の指導のために残って下さる事になりました。喜ばしい限りでございます。

さて本会は今年、10周年を迎えました。この9年余りの間に本会にも様々な変遷がありました。平成17年3月に最初の準備会を開いた時はたった5人のメンバーでした。それが現在は56名を数えるに至りました。活動内容も当初は野草の名前を覚えるための野草観察会のみでした。それは当初の本会のスローガン「足元から自然を学ぼう」に端的に表れています。

その後本会も経験を積み重ねるうちに様々なことを学び、実践するようになりました。会の名前も「久喜自然観察クラブ」「久喜自然愛好会」「NPO法人久喜の自然を愛する会」と三度変わり、その度に活動内容を広げてきました。スローガンも「現在（いま）ある自然を次の世代に残そう」が付け加わりました。自然を学ぶ事を基調としながら、自然環境保護を重要視する活動になってきました。その内容はこの会報の中に詳しく述べられています。じっくりご覧ください。

以上言葉は尽くせませんが、就任の挨拶とさせていただきます。

★★活動の記録★★ 2013年末～2014年前半

★野草観察ふれあいウォーク「中土手」2014年5月11日9時～

「春のうららの備前堀川」ではありませんが、まさに春本番の日和でした。久喜菖蒲公園駐車場に、総勢36名（内一般参加者15名）の多くが集まりました。初めに藤浪新会長から開会の挨拶をいただき、次いで講師の長須顧問から、「今日のふれあいウォークで、自然とふれあうと同時に共にウォークする仲間とのふれあいを大いに楽しんでください」と声を掛けて頂いてのスタートでした。備前大橋を渡った中土手から早速野草の観察開始でした。土手に入ると「ナガバギシギシ」から始まり、「スイバ・ハルジオン、イタドリ、ヒルガオ、ヒレアザミ」と講師から、一つひとつ手に取り、名前・見分け方・等丁寧な説明をいただきました。熱心な顧問と熱心な参加者が一体となる勉強で、ゆったりペースのウォーキングでしたが、備前堀橋まで、約1キロを野草観察し、2時間余りの勉強会でした。備前堀橋の近くに在る野草保護区では、ヤブカンゾウ・ワレモコウ・ウマノスズクサ・アキノカラマツ・ガガイモ・オニユリ等を観察、皆で開花時の花の姿に想いを馳せました。一同スタート時点に戻り、恒例であります「次ページの当日出席者の主な感想」の様子一人ひとりが感想を述べ、「ありがとう」「また参加したい」の声を交換しての解散でした。

《 当日出席者の主な感想 》（文責会田）

渋谷（一般） この近所をとおっていた。今回参加してこんど通る時の新しい目が育った。

森島（一般） 野草が大好き。小さな事典を暇なとき開くことが好きなんです。

- 今日はより詳しい内容を先生に教わった。
- 吉田 (輝) 名前が覚えられない。回を重ねるとなじみがあるとなかろうと少しづつ近くなっている。ヒレアザミの色がよかった。
コウゾリナはなんだか分からなかったが漢字では顔剃と書く、漢字パワーはすごい。
- 春尾 今日の大収穫はガガイモが分かったことです。
スクナヒコナの神 (古事記) の話がでた。
- 渋沢 冬山をやったことがある。生い茂る草の大自然の中をラッセルした。
今日は“しっかり勉強をやるんだ”と長須先生に叱られているような気がした。
- 滝本 (一般) 鷲宮から来た。天気がよくうれしい。そこらにはえている草にも立派な名前があるものだといいことを今日は知りました。
- 加藤 (一般) 参加したいと思っていた。川の土手には何かがいるのかと思い、参加できなかった。今日は友人と参加できて本当に楽しかった。
- 蓮見 (一般) 友人と前々から行ってみたいと思っていた。やっとかなえた。
外来種が多いのでびっくりした。国産の植物を知りたい。今日は楽しかった。
- 小野木 (一般) 今日は有難うございました。次回もよろしく。
- 白石 みんな楽しい人です。こうやって時間をもてたことを感謝しています。
- 古澤 マイク入らず聞き取り不能
- 高橋 長い間参加している。トウダイグサだけを知っている。どこにあるのかと思っていた。田んぼにあったのでほっとした。後の草は忘れた。
- 萩原 (一般) 始めて参加した。西武ドームのバラ展示会に誘われたが断って来た。たいへんよかった。
- 簾内 おぼえては忘れをしている。今日も同じと思っていた。ギシギシは一種だと思っていた。ナガバギシギシなどギシギシの違いが分かった。ポイントが分かるとうい。
- 長谷川 (一般) ギシギシは一種類と思っていたが、何種類かがあることが分かった。又野草だと分かった。それまではギシギシという雑草と思っていた。
- 長谷川 (一般) 野草はたくさんあって覚えられない。食べられるものから覚えたい。
- 山岡 (一般) 山本と書かれています山岡です。今日は楽しく過ごせた。
- 山岡 (一般) 楽しく過ごせました。
- 津田 バスで来ようと思った。休日はバスが無いので遠くを回った。ずっと歩いてきた。やっと皆さんに会えた。今後気をつけます。
- 原 コバナキジムシロを見たことが最大のお土産です。
- 平尾 四年目です。前は6月でしたので野草の内容が変わっていた。
ヒレアザミが増えていたと思った。時間とともに野草の主流が変わっている。又違う花が増えてきている。
- 和泉 野草の良さはと現場で現物を見るのが一番です。年をとると、身近であたらしい発見が少なくなるものですが、野草の生きている現場でじっと観察していると、その都度発見があり嬉しいものです。ヒレアザミの色は何度見てもきれいでした。それぞれ匂はありますが。
- 早坂 一年前に参加した。先生の腰巾着をやらしてもらった。先生の説明が良く分かった。先輩に詳しい方がいますので聞いて肥やしにしたい。
- 木下 一年目にこのコースに参加した。6月から5月に変わり同じところを歩いても植物が違うので全く新しい話が聞けてよかった。
- 塚原 10年前から中土手の観察や保護活動をしている。今井さんが参加を希望してくれて嬉

しい。中土手は日本古来の植物がまだある。貴重なところですよ。皆さんも関心を持って下さい。多く皆で歩いたので道筋が出来てうれしい。もうすぐソクズの花が咲く。クララが大きくなっているので、間もなく花が咲きます。

塚本（一般） こういう会があるのは知らなかった。父が野草の会に入っている。本が沢山あり興味をもったので参加した。

齊藤 好天で良かった。来るたびに感じますがいくら説明してもらっても頭に入らない。野草の世界はすばらしい。事典をしらべるのは、それなりの由来特徴がありボケ防止につながる。ニワゼキショウはピンクもあり、シロもあり可愛いと思った。よかった。

今井（一般） 病気の話をすれば乗ってくる。みなさんはそれだけ若い。

藤浪 天気にめぐまれ沢山の人が参加してくれてありがとう。会員以外から楽しかったと聞かれ非常によかった。自然現象に興味をもってもらいたい。次回は6月29日吉羽天神です。集合は宮代運動公園駐車場です。交通の便が悪いのがこの会の特徴です。

長須 ひとりひとり感想をいただきありがとうございます。私も皆さんからのこういう一言で何時間か寿命が延びた。自然と楽しむこと大事。

家の中に閉じこもりテレビを見たりパソコンとにらめっこすることより外に出て太陽をあびて生活することが大事。親子関係も家族関係も崩壊している。家族も子供孫も自然にまじって食事をしたりして植物と接する機会がほしい。

宮川 小学校の放課後子供教室で、自然の観察をしている。会員以外の方も鷺宮東小学校、太田小学校で手伝える人がいたら宜しくお願いします。

以上

《 当日の主な野草 》

シロバナタンポポ・オオジシバリ・オニタビラコ・ハルジオン・イタドリ・スイバ・カラスムギ・カラスノエンドウ・ヒレアザミ・ヤエムグラ・アメリカフウロ・アカネ・セイヨウタンポポ・カントウタンポポ・ナガバギシギシ・センニンソウ・ヤブカンゾウ・オニウシノケグサ・スズメノエンドウ・ワレモコウ・アキカラマツ・ハハコグサ・トウダイグサ・キュウリグサ・コバナキジムシロ・オニタビラコ・アカバナユウゲショウ・ヌマトラノオ・ツバナ・ケキツネノボタン・キツネアザミ・アキノノゲシ・キレハアキノノゲシ・マメゲンバイナズナキュウリグサ・ハコベ・カキネガラシ・シロツメクサ・ヤブジラミ・ツボミオオバコ・ウラジロチチコグサ・コメツブツメクサ・ヘクソカズラ・オランダミミナグサ

★キクイモ掘り

2013年12月1日

東側野草保護地の隣に植えてあるキクイモ掘りを行った。 昨年は芋が少し小さかったので、今年は昨年より少し時期を遅らせた。

キクイモが食糧として注目されるようになったのは戦後の食糧難時代に、国民の飢えをしのぐために植えられ貴重な食料となったためだそうです。

現在では生活習慣病対策の食品として食べられているようです。キクイモには「天然のインシュリン」と呼ばれているイヌリンが含まれているそうです。イヌリンの糖質は人間の酵素では消化吸収できない

いものなので、ブドウ糖の生成が抑えられ肝臓への負担を減らすことができ、さらにインシュリンの分泌量を低下させ、血糖値の上昇を抑える効果もがあるそうです。血糖値が心配な方は是非食べてみて下さい。食べ方はてんぷら、みそ漬け、生でサラダ等々多様です。

★年間反省会 2013年12月15日 18時～ 華屋与兵衛

25年の年間反省会《忘年会》は、華屋与兵衛で開きました。残念ですが長須会長は所要あり欠席となりましたが、藤浪副会長出席のもと20名が集う会となりました。司会は宮川が担当し、「25年の久喜の自然を愛する会」の活動を通し、感動を覚えたことや勉強になった事等を夫々が発表いたしました。

出色は、9月15日（日）に開催予定だった「ふれあいウオーク吉羽天神」の件でした。大型台風の影響で中止となり、9月17日（火）に変更となりましたが、ここで観たトンボ“アキアカネ”の飛来でした。長須会長が「今日あたり、去った台風の風に乗って“アキアカネが”飛来・・・」と話されている、丁度その時でした。先生の指差す南の彼方（秩父山の方面）から。なんと！続々と大人になった“アキアカネ”の群れが飛んで来るのでした。多くがツガイになり、産卵する場所を求めて乱舞しているのです。台風のお陰での観察出来たのだと思え、自然のおりなす営みに感動・・・。又、同日「マテバシイの食べ方」を会員から教えてもらい、この日「茹でたてのマテバシイ」を持参。皆「これはいける」「ピーナツみたい」などと言い、皆でいただきました。

様々な喜びの活動を話し合いながら、来る年も「よろしく」と互いに念じ閉会となりました。

★七草粥を食べる会 2014年1月6日 9時～ 太田集会所

《 当日の様子 》

NPO法人「久喜の自然を愛する会」では、恒例となりましたが、今年も「七草粥を食べる会」、を開催いたしました。会員25名一般2名の総勢27名と多くの参加でした。長須会長より、新年の挨拶と「七草粥についての解説」を頂きスタートとなりました。ご婦人会員さんが中心となり、なれた手順で「より美味しく」と心を込めて七草粥を調理して下さいました。11時には粥は完成、食卓を整え「食べる会」開始でした。

藤浪副会長の「七草粥を食し、会の発展と参加者の無病息災を祈念する」との乾杯の音頭を頂き、美味しく出来た「七草粥」を食しながらの楽しい歓談となりました。参加者からは、口々に「美味しい、美味しい」が発せられ、採取した人は無論ですが、住んでいる久喜の豊かな自然を、七草粥を頂く事で実感されているようで、格別な味わいの様子でした。又、会員からの寄付・矢野会員から「自家製のコシヒカリ」、平尾会員からは「自家製の餅」、会員の同土が栽培し漬けた「菊芋の味噌漬け」等の紹介もあり、会員同士の懇親を一層深めることが出来ました。最後に塚原さんから閉会の挨拶を頂き閉会となりました。

《 前日の七草摘みの様子 》 2014年1月5日（日） 10時～ ロヂャース北西地域

会の前日1月5日（日）七草摘みを行いました。正月気分の冷め遣らぬ日でしたが、午前10時ロヂャース駐車場に、七草摘み初体験の3名を含め10名と多数での採取活動となりました。昨年まではロヂャース北西地区で採集でしたが、アリオ開業で環境が変化、今年は少し地域を広げ車で活動しました。4ヶ所で「ナズナ・ハコベ・ゴギョウ・ホトケノザ・セリ」と採取、1時間30分程で終了しました。初めて参加した人は、足元に生える七草を発見し、「目を輝かせ」「夢中になり」「ワイワイ」と賑やかで楽しい七草摘みでした。

※この日、ロヂャースでは450円で「七草セット」を販売していましたが、七草摘み活動を体験することで、「人と共に、自然を愛で、自然に感謝」を感じられる事は、幸せだと思いました。

★久喜市の野草写真展 2014年3月1日～7日中央公民館1Fロビー

「久喜市の野草写真展」は、第9回となりますが開催いたしました。

出展写真は昨年と同様59点でしたが、白石会員の色鉛筆画が5点、ハコベ・セリ・ナズナ・ゴギョウ・ホトケノザ・他の鉢植え、加えてガガイモの種の実物など多数が展示されました。

3月入っても時折冬のような寒い日が続きましたが、田中市長はじめ新聞記者等、芳名簿記載者は275名を数える盛況な写真展となりました。ご来場者からは「9回目ですね、毎年楽しみにしています」、「あの草もこの草も家の庭に有りますが、写真を見て野草の健気さに可愛さに感動です」、「一つひとつに名があるのですね、もっと関心を持ちたい」、「NPOになったんですね」等、励ましを戴き写真展を続ける喜びをいただきました。

ご来場者の中には、埼玉新聞の記事「ウスゲチョウジタデ（絶滅危惧Ⅱ類）」の写真展示中を読まれた方が、加須から来場され食い入るように写真を見ておられました。又、同氏は動植物に強い関心を持たれていて「久喜から飛来するカラスが増え加須の(?)カエルが減少し心配だ」とも話しておられました。自然環境の変化について考えさせられました。いま一人、ガガイモに関心を持たれているご婦人は、ガガイモの写真と展示している実物をご覧になられ、「家で育ててみたい」と種を大切に持ち帰られました。矢野会員が応対されたのですが、後日丁寧に「お礼のはがき」を届けられました。ガガイモについては簾内会員の「昔の人は綿毛を朱肉の材料に使った」との説明が、昔の人の自然と一体となった知恵に感動、来場者の注目を集め、写真展のモットー「足元から自然を学ぼう」に沿う活動となりました。「久喜市の野草写真展」は今年で9回目となりましたが、毎年3月に開催する事で来館者にとっては、野草の写真観賞を通し春の到来を、逸早く感じておられる様であり「春の風物」を呈しているようでした。

★キクイモ植え付け 2014年3月22日

今年は春が遅かったので、梅の花がまだ咲いている。参加者8名で、キクイモの植え付けを行った。秋の収穫が楽しみです。

★久喜の里野草写真展 2014年3月14～5月14日

老人ホーム「久喜の里」での、「久喜市の野草写真展」は第9回野草写真展終了後、4年連続4回目となりますが写真展で展示した全写真59点は「久喜の里」へ展示場所を移し、施設を利用される方々に見て頂きました。施設を利用されている皆さんは普段、野草に触れ合うことも少なく「野草の写真」の展示を楽しみにしているとの事であります。会員としては、展示願えるのは喜びでありこれからも積極的に参加していきたいと思えます。

★野草保護活動

野草保護活動は東側と西側の2か所で4月から10月まで月の第4日曜日に行われている。

東側は吉羽地域内で、青毛堀と葛西用水が合流して古利根川になったところの右岸にある。対岸には昌平高校がある場所である。近くに吉羽天神があり毎月1回第4日曜日に、ここに集合して付近の野草を観察後に保護活動を行っている。

この保護地では付近に生育している、絶滅危惧種等の希少植物を集めてミニ植物園的な形で保護活

動を行っている。今年は保護のため植えたミゾコウジュが花をつけた。

西側は久喜菖蒲工業団地裏の中土手で主にヤブカンゾウを中心とした保護活動を行っている。

★NPO法人久喜の自然を愛する会第2(通算10回)総会と懇親会

2014年4月13日 9時～ 太田集会所

《 総会の様子 》

「NPO法人 久喜の自然を愛する会第10回総会」は、太田集会所で開催致しました。司会の山谷会員より、初めに「出席26名プラス委任状と総会開催の条件が整った」と宣せられ開会されました。長須会長からは、「本会の設立からの今日までに至るまでの歴史と歩みに感謝を述べられ、今後一層の活躍を期待する」と挨拶があり、会長は辞するが顧問として活動を約するとのことでした。次いで新会長の藤浪氏から、25年度の活動報告・役員を選出・26年度活動計画等一連の議題が報告審議され、総会は順調に進み終了いたしました。

議論の中で、NPO法人と成った事による意識の高まりが感じられましたが、今後の活動として確認されたのは、①県の生き物モニタリング調査への協力継続実施②東鷲宮小に加え太田小への「放課後子供教室・ゆうゆう」自然観察活動広がり③太田小のコミュニティ協議会への参加④しらこぼと賞へ応募⑤久喜の自然を愛する会、創立10周年記念企画として全会報集約版発刊⑥自然観察バス旅行の実施等がありました。大変前向きで建設的な意見交換が多く出た有意義な総会でした。

《 懇親会 》 総会終了後

太田集会所の調理室にて22名の参加で「野草のテン普拉を食す」懇親会を開きました。前日採集した野草(イタドリ・ノカンゾウ・スイバ・ノビル・フキ・ヨモギ・クコ・セリ)を、テン普拉に、オヒタシにクコ炊込みご飯に調理が、婦人会員さん中心に始まりました。毎年行なってきた行事であり、11時30分にはご飯も・テン普拉も・オヒタシも完成し、隣の和室を懇親会場としての懇親会でした。会場のテーブル一杯に載せられた、多数多種類のテン普拉に加え会員さんが持参ご寄付下さった、「栗橋産コシヒカリを使ったクコご飯」「92歳の母が漬けたタクワン」「十勝ワイン」「手前味噌で拵えたセリのオヒタシ」も加わり、豊かな自然の恵みと共に、皆様の心のこもったご好意を感じながらの懇親会でした。

沢山の料理でしたが完食でした。クコ御飯では長須顧問は茶碗に3杯食されたとの事で、釜の底まで見えるほどにきれいに平らげられました。

NPO法人久喜の自然を愛する会に属し「久喜の自然を愛する仲間」と共に過ごせる、幸せを実感する懇親会となりました。

《 会報集約版の作成 》

会田さんを中心に、これまで発行した会報の集約版を作成し、会員に配布を行った。

《 「テン普拉材料」野草摘みの記 》

平成26年4月12日(土) 9時～ 工業団地の中土手で明日に控えた総会後の「懇親会・野草のテン普拉の食材」の野草集めを行った。

★県民参加生き物モニタリング調査

2014年5月25日

埼玉県が行う県民参加生き物モニタリング調査に引き続き参加し、5月25日（日）の野草保護活動作業の前に初回の生き物モニタリング調査を行った。

県民参加生き物モニタリング調査の概要は以下の通りです。

1. 目的

埼玉県が行う県民参加生き物モニタリング調査は、県内で自然環境保全活動を行っている団体が、様々な生き物を一定期間にわたって調査記録することにより、県内の生き物の多様性の変化を把握する事を目的とし、その情報を共有化し、保全活動の実践に生かす事を目的とする。

2. 調査方法

① 環境設定

次の環境区（A～E）を設定し、1kmほどの調査ルートを作成する。

A：雑木林コース B：河川敷コース

C：水田・休耕田・畑コース D：市街地

E：その他（各団体が独自に作成したコース。調査地域が狭い場合はA～Dの複合も可）

② 設定したコースの観察を行い、生育する動物と植物を記録する。

3. 調査期間

平成26年5月～平成27年12月

4. 調査対象種

植物 原則として20種以上

動物 原則として15種以上

5. 会の取り組み

久喜市も年々開発が進み、多くの動植物が絶滅の危機に陥っている。平成26年度末には、東地区の調査ルートを横切る圏央道が開通し、環境が大きく変わる事が予測される。このような状況の中で生き物調査を行い、県の報告書に未永く残される事は非常に意義の有る事です。

調査コースは野草保護活動を行っている東西の2地区を中心に設定した。

① 調査コース

東地区 吉羽天満宮周辺～東側野草保護地～東側野草保護地周辺河川敷～古利根川と中落掘川
流点

西地区 備前堀川の工業団地側土手・土手に続く用水堀周辺の農道

② 調査日

原則として、野草保護活動の日に保護活動参加者全員で行う。

③ 調査期間

平成26年5月～12月まで調査し、平成27年1月にデータの報告を行うが、調査は引き続き行う。

★久喜市放課後子供教室「ゆうゆう」

《2014年のスケジュール》

久喜の自然を愛する会
会 員 各 位

久喜の自然を愛する会 会長藤浪康義

ゆうゆう活動担当 宮川俊治

昨年から小学校の放課後子供教室の活動（ゆうゆう）に、NPO法人久喜の自然を愛する会は、事業の一環として参加していますが、26年度の計画が以下の様にまりました。会員においては「いまある自然を次の世代に残そう」の会のモットーを理解いただき、積極的なご協力をお願い致します。

「NPO久喜の自然を愛する会」の関わる26年度ゆうゆう活動計画

日付	曜日	活動時間	小学校名	科目	内容
6月16日	月曜	15:00~16:30	東鷲宮小	自然観察	植物観察（ピオトープ中心）在来種と帰化植物、オオバコとハラオオバコ・カントウタンポポとセイヨウタンポポ
7月7日	月曜	15:00~16:30	東鷲宮小	自然観察	ザリガニ釣り
9月8日	月曜	15:00~16:30	東鷲宮小	自然観察	花と葉の形
9月20日	土曜	9:00~11:30	太田小	自然観察(校外に出て、珍しい草花などを観察します。どんぐり遊びも楽しいよ!)	吉羽天神社近辺にて各種どんぐり（スタジイ・マテバシイ・カシ・クヌギ・ナラ）採集、工作（独）や食べる（シイ・マテバシイ）
9月29日	月曜	15:00~16:30	東鷲宮小	自然観察	どんぐりの種類、どんぐりを使って工作
11月17日	月曜	15:00~16:30	東鷲宮小	自然観察	種子たちの知恵（オオオナミ・イノコツチ・セイヨウタンポポ・アメリカセンダングサ等）
12月15日	月曜	15:00~16:30	東鷲宮小	自然観察	

お手伝い可能な方は、担当宮川まで一方願います。

念の為、宮川のTEL自宅0480-24-1068、携帯090-6480-6542



絶滅危惧種の野草も撮影された写真展―久喜市中央公民館

市内で見られるものを中心に約60種を紹介。ヨーロッパ原産の二年草または多年草のバラモンギクは3、4年前に吉羽大橋下流で見つかったが、外来

久喜市で活動するNPO法人「久喜の自然を愛する会」(長須房次郎代表理事)の会員が撮影した野草の写真展が7日まで、久喜市中央公民館で開かれている。野草の名前を知ってもらい、自然環境について考えてもらえればと、毎年この時期に実施。今回9回目。

市内の野草写真展示

久喜の自然を愛する会 絶滅危惧種など60点

種のため種類を調べるのに時間がかり今回初めて展示した。幸手市天神島で見つけた絶滅危惧Ⅱ類のウスゲチヨウジタデも初お披露目だ。
県内で唯一同市鷲宮で自生している絶滅危惧ⅠA類のデンジソウ、準絶滅危惧のヌマトラ

久 地道な活動で自然保護

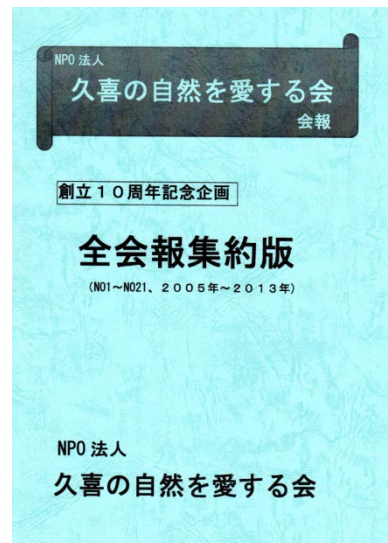
喜 久喜の自然を愛する会全会報集約版発行



新会長の藤波さん(左)と長須さん

久喜市のNPO法人「久喜の自然を愛する会」(藤波康義会長)が4月13日に太田集会所で定期総会を開催しました。市民大学のメンバー20人で自然観察クラブを立ち上げ、「一足元から自然を学ぶ」というスローガンの下、市内に自生する野草の観察とその保護を目的に活動し、今年で10周年を迎えました。

総会の後は、会員が前日に久喜菫浦工業団地付近の中土手で採集した、フキ、クコ、ヨモギ、ヤブカンゾウ、スイバ、ノビル、イタドリ、セリ、などを天ぷらにして楽しみました。また、10周年を記念して、野草保護活動、野草観察ふれあいウォーク、写真展などを記録した会報すべてを一冊にまとめた「全会報集約版」を発行しました。今回の総会で会長職を勇退した長須房次郎さんは、「次世代へのバトンタッチです。これからも顧問として会を見守っていきたくて話し、藤波新会長は「身の引き締まる思いです。これからも地道な活動で市の自然を守る活動を進めていきたい」と意気込みを話しました。





4月にNPO法人「久喜の自然を愛する会」の自然観察クラブ。春日部2代目代表理事に就任した久喜市吉羽2丁目の藤浪康義さん(70)。「個草に興味を持った在学時代の活動には限界がある。行政ともタイアップして久喜の自然保護に取り組みたい」と力を込める。

元気で

立ち上げた。自然保護にも力を入れるため「久喜自然愛好会」に改め、18年1月にNPO法人にした。会員数は58人。この秋に発足10年の記念式典を予定している。

所久喜の「中土手」ではヤブカンゾウの群生などを保護。吉羽地区の古利根川右岸では絶滅危惧種のノジトラノオやクマツツラなどを保護している。会報に掲載する野草などを上手に撮りたいと思つて始めた写真で、今年の県展で初入選したと喜ぶ。

(新井千鳥)

自然観察 原点に活躍

★新入会員情報 (取扱注意)

吉田とみ子 22-6548 梅田修一 新井きよ子 21-5537
 津田富喜子 21-2446 滝本満州男 58-5445 今井政男 31-7334

以上6名が我々の仲間に新しく加入されました。よろしくお願ひします。

現在会員数 56名

★今後の日程

ふれあいウオーク吉羽天神	6月29日(日) 9時	宮代運動公園駐車場集合
創立10周年記念式典	11月3日(月)	ふれあいセンター久喜
年間反省会	12月13日(土)	華屋与兵衛
野草保護活動	東側 毎月第4日曜日 8時	吉羽天神集合
	西側	中土手
七草粥の会	2014年1月6日(月)	
第10回「久喜市の野草写真展」	2014年3月1日~7日	久喜中央公民館

★編集後記

- * 今6月5日、早々と関東地方が梅雨入り宣言。1週間前の連続猛暑が嘘のよう。梅雨入り早々に、あちこちで豪雨が発生しました。今年の梅雨が長いとの予想もあります。
- * 会報22号は宮川と松本が編集しました。今後、皆様へ原稿のお願いいたしますので、よろしくお願ひ致します。

NPO法人久喜の自然を愛する会会報 NO1 (通算22)

2014年6月発行

発行 特定非営利活動法人久喜の自然を愛する会

発行人 藤浪 康義

編集人 宮川 俊治

松本 春勇